

第25回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2014年6月2日(月)13時00分～14時15分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、渡邊委員、石川委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
 1. 2013年度離島対策等支援事業 実績報告(案)
 2. 2014年度離島対策等支援事業 活動計画(案)

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2013年度離島対策等支援事業 実績報告(案)について説明。

(委員)

資料3別紙3「小規模離島における事業周知効果の確認結果」において、土庄町の保有台数は、2014年度から新たに事業対象となった小豆島及び沖之島の保有台数が加わり大幅に増加していると思われる。本資料の趣旨である小規模離島に該当することがわかるように、土庄町は豊島、小豊島の保有台数を記載してはどうか。

(再資源化支援部)

資料を修正する。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 2014年度離島対策等支援事業 活動計画(案)について説明。

(委員)

資料4別紙1「計画と実績の乖離解消」において、土庄町の保有台数、計画台数及び計画額が2014年度から増加した理由について、新たに小豆島、沖之島が事業対象となったことを注記してほしい。

(再資源化支援部)

資料に注記を加える。

(委員)

事業周知チラシは、事業認知度の向上に効果的であると考えますが、小規模離島の中でも規模の小さい市町村においては、チラシが確実に住民へ行き渡るよう全戸配布等も検討されたい。

(再資源化支援部)

これまでも、市町村の規模によりチラシの全戸配布を依頼し実施されている。今後も、可能な範囲で市町村へチラシの全戸配布を依頼し、事業認知度の維持・向上を図りたい。

(委員)

チラシが全戸配布されず手元に届かない住民に向け、島内の自動車にステッカーを貼付する周知も検討されたい。

(委員)

市町村の公用車等であればステッカーを貼付する周知は可能。また、住民が定期的に訪れる免許センター等における周知も検討の余地があると考えます。

(再資源化支援部)

今後、周知方法を検討するにあたり意見を参考にしたい。

(委員)

資料4における「(3)離島近隣の本土事業者に対する周知」について、本土事業者が、離島対策支援事業を認知せずに使用済自動車等を収集する状況を知りたい。

また、事業を活用しないことによる問題の有無を説明されたい。

(再資源化支援部)

詳細は把握していないが、2013年度の香川県、岡山県への訪問支援の際、離島との取引がある本土事業者数社に確認したところ、いずれも離島対策支援事業を認知していなかった。

これまで、事業を活用しないことによる問題が発生したとの報告は受けていないが、今後、経済市況の悪化等に際し、当該離島に使用済自動車が滞留することを懸念している。

(委員)

議題2. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、2013年度離島対策等支援事業 実績報告(案)における収支報告及び出えん実績について、2014年6月6日開催の第57回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上